





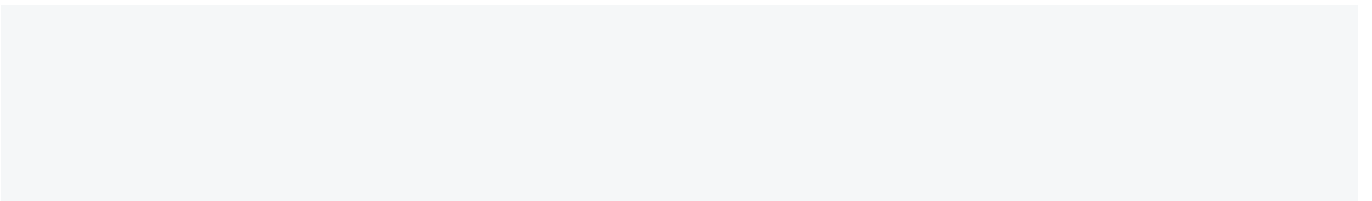
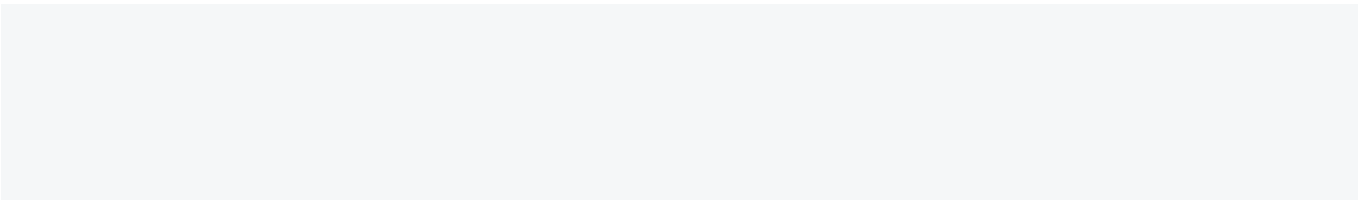
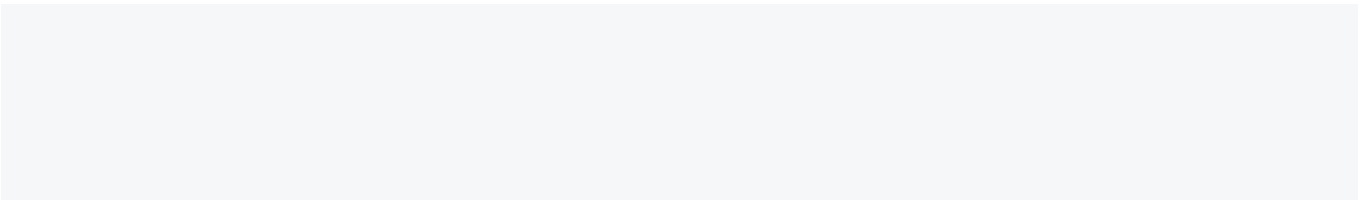
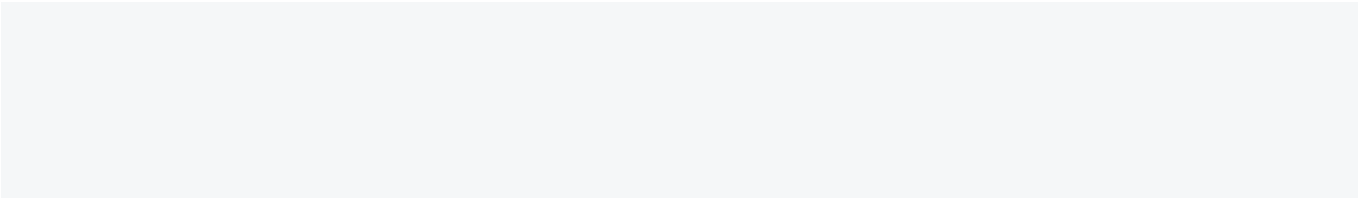
---


(C2.2) 気候関連リスクおよび機会を特定、評価する、およびそれに対応するプロセスについて説明します。

対象」絵映記義備

---

---





(C2.4a) 貴社の事業に重大な財務的または戦略的な影響

---

---

---





(C3.2b) 気候関連シナリオ分析を使用することで貴社が取り組もうとしている現在焦点となっている課題を具体的に答え、これらの質問についての結果を要約してく

---

---



すべての選択したスコープの目標の対象とされる報告年の総排出量(CO2換算トン)  
15290196

基準年に対して達成された目標の割合[未補算付]

5%

---























(C6.4a)

---

---












---

---










---




石油

発熱量

高位発熱量

組織ごとの消費された燃料合計(MWh)  $\dot{C}$





---

---

---

---



---

(C-Step3a) 貴社の鉄鋼関連消費量、生産量、生産能力を製鉄所別に回答してください。

	金属くず消費量(トン)	溶鉱炉鉄消費量(トン)	直接還元鉄消費量(トン)	粗鋼生産量(トン)	粗鋼生産能力(トン)
酸素転炉	410000	6860000	0	6450000	6800000
電気アーク炉	380000	33000	0	340000	410000
その他	0	0	0	0	0
総計					

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--










---

---

--	--

---

--	--

---



---

